

## 座長・演者の皆様へ (必ずお読み下さい)

1. 「一般演題」、「新人発表」の発表形式について
  - (1) 発表に際し、演者および座長は会場での口述となります。質問は来場者からの口頭によって行なわれます。座長がそれらの中から質問を選び、演者にお答えいただきます。
  - (2) 演者が会場に来られない場合は、原則として共同演者にご発表いただきます。共同演者も準備をお願いいたします。
  - (3) 感染拡大による職場規定などを理由とし、演者、共同演者ともに来場できない場合は、演題中止およびポイント付与の対象外となる場合がございます。
2. 「特別講演」、「教育講演」、「一般演題」、「新人発表」の司会および座長の皆様へ
  - (1) 各セッションの開始 30 分前までに、会場にお越しください。
  - (2) 現地来場者からの口頭による質疑応答となります。  
座長は質問者の「所属・氏名」から始まるようお声掛けをお願いいたします。
  - (3) 参加者からの質問が少ない場合、座長からの質問をお願いいたします。  
参加者の理解を促進するような質問、発表内容に示唆を与えるような質問など、その研究や演者の発展を促すような配慮をお願いいたします。
3. 「一般演題」、「新人発表」の演者の皆様へ
  - (1) 発表スライドの受付は、学会当日に行います。  
USB メモリにて、発表データをご持参いただきますようお願いいたします。  
USB メモリは、必ず事前にウイルスチェックをお願いいたします。  
スライドデータ受付場所：第1会場 ホワイエ前ロビー (サウスエントランスロビー)  
受付時間：8:30 ～ 9:30 ※時間厳守でお願いします。
  - (2) プレゼンテーションファイル名は必ず会場番号・演題番号・氏名の全てを記入したものとして下さい (例：第1会場\_一般演題1\_香川太郎)
  - (3) 学会当日はスライドの試写は行いませんので、ご了承ください。
  - (4) 演題発表は、第1～3会場の3か所に分かれて行いますので、あらかじめ発表場所と発表時刻の確認をお願いいたします。
  - (5) 発表時間は7分以内、質疑応答は3分です。
  - (6) 各セッションの開始 10 分前までに、会場次演者席にお集まりください。
  - (7) 液晶プロジェクターを使用したパソコンによるプレゼンテーション発表になります。Microsoft PowerPoint 2013で開ける形式で準備してください。スライドのサイズは、「ワイド画面 (16:9)」で作成してください。枚数の制限は設けませんが、見やすさを考慮してください。なお、Mac OSを使用する場合はあらかじめ学会事務局までご連絡ください。動画およびスライドアニメーションは許可しておりますが、発表時に不具合が起きた場合は対応し兼ねますのでご了承ください。

- (8) 演題発表に関する利益相反 (COI) の開示について  
発表の際に、利益相反 (COI) 状態の有無を開示してください。  
演題名の次のスライド (2 枚目) に挿入してください。利益相反のスライドは、香川県理学療法士会ホームページ内、「第 29 回香川県理学療法士学会掲載ページ」からダウンロードできます (<https://www.kagawa-pt.com/>)。

- (9) 学会誌用原稿は、以下の規定にしたがって Microsoft Word で作成して、

**令和 6 年 3 月 10 日(日)まで**にメールにて提出してください。

<提出先>

〒767-0003 香川県三豊市高瀬町比地中 2986-3

三豊市立西香川病院 リハビリテーション科 小林 真弥

TEL : 0875-72-5121

メールアドレス : [onetermmeeting14@gmail.com](mailto:onetermmeeting14@gmail.com)

### <学会誌用原稿作成規定>

- 1) 学会誌用原稿は1演題 A4用紙2枚とします(学会誌に掲載する体裁としてください)。
- 2) 学会誌用原稿の書き方について
  - ①学会誌用原稿ファイルを香川県理学療法士会ホームページ内、「第29回香川県理学療法士学会掲載ページ」からダウンロードして作成してください。( <https://www.kagawa-pt.com/> )
  - ②学会誌用原稿の文字は、タイトルはMSゴシック体、12ポイント、所属機関および氏名、キーワード(3つ)はMSゴシック体、10ポイント、本文はMS明朝体、9ポイントとして下さい。
  - ③本文内容は、【目的】・【対象】・【方法】・【倫理的配慮】・【結果】・【考察】・【まとめ】・【引用文献】などの小項目に分けてください。
  - ④症例報告に限り【方法】を【症例】に変更する事を認めます。  
【倫理的配慮】の記載例：(例)ヘルシンキ宣言に基づき本人の同意を得た。倫理委員会の承認を得て患者が特定されないように配慮した。
  - ⑤写真や図表を入れる際には、挿入スペースおよび位置を十分考慮し(スペースが小さすぎる事、段組の途中で写真や図表が入ることなどがないようにご配慮ください)、原稿の指定枚数(A4用紙2枚)内に納まるよう十分にご注意ください。
- 3) 学会誌用原稿の投稿に関する注意事項(二重投稿の禁止について)  
二重投稿は多くの学術団体で禁止されている行為であり、学会誌の権威や信頼性に関わる問題であるとともに、先行掲載誌の著作権に関わる行為であることから、十分な注意をお願いいたします。